



9月は世界アルツハイマー月間

国際アルツハイマー病協会 (ADI) と123の国・地域の加盟団体が認知症への正しい理解が進むことを目的に世界中で啓発活動を行っています。日本では「家族の会」が中心となり、全国各地で啓発リーフレットの配布や記念講演会、動画配信などを行っています。

Live! ライトアップ 2022

放送開始 ● 2022年9月21日(水) 19:00～

各地のライトアップを中継してYouTubeでライブ配信!



https://bit.ly/WAD20220921

みんなでつながろう

「家族の会」はコロナ禍でも感染対策をしながら対面やインターネットを使った交流をしています。

出会いをつくる

全国で本人や家族が集まるつどいを開催。電話相談で支え合い、会報で情報共有をしています。

社会を動かす

認知症の人と家族が安心して暮らせるよう、国などへの要望や、啓発活動を行っています。

1980年に「家族の会」は結成、全都道府県に支部があり、会員10,000名どなたでも入会できます。

年会費●正会員個人5,000円・賛助会員(1口)10,000円

活動内容・各地のつどいなどの情報は「家族の会」ホームページをご覧ください。

家族の会

検索



公益社団法人 認知症の人と家族の会

代表理事 鈴木森夫

〒602-8222 京都市上京区晴明町811-3 岡部ビル2F
TEL (050) 5358-6580 FAX (075) 205-5104
Eメール●office@alzheimers.or.jp
Web●https://www.alzheimer.or.jp



認知症の電話相談 (通話無料)

0120-294-456

携帯・スマホからは 050-5358-6578 (通話有料)



<支部連絡先>



公益社団法人 認知症の人と家族の会

Alzheimer's Association Japan



国際アルツハイマー病協会提唱

後援/厚生労働省



alzheimers.or.jp



fb.com/kazokunokai



@kazokunokai



2022年版

忘れても
あなたはあなたの
ままがいい



9月21日は
世界アルツハイマーデー

認知症になっても安心して暮らせる社会を

認知症になると、「何もわからない、何もできない」とまだ思っていませんか。
認知症になっても、自分らしく暮らしている人がたくさんいます。

認知症とともに 希望がもてる社会へ

認知症と診断されたとき、慌てずに少しでも早く希望を見つけるための3つのヒントです。

1 からだが少しずつおとろえることに備えましょう

年齢とともにからだはおとろえていきます。記憶力や判断力の低下もそのひとつです。自分の記憶や判断だけでなく、日頃から記録をつけたり、家族にも確認して行動する習慣を身につけておきましょう。

2 認知症になるかもしれないことに備えましょう

認知症に備えてできることはたくさんあります。生活習慣病の予防や人との交流、趣味を楽しみましょう。また、家族に自分の意思を伝えておくこと、介護が必要になったときの情報を知っておくことも大切です。

3 早めの相談・受診へつなげましょう

もし、認知症かな？と思うことがあれば早めに相談・受診をしましょう。正確な診断がわかることで、適切な治療・介護を受けることができます。普段から相談できる人、かかりつけ医をみつけておきましょう。

認知症と診断されても、生活が急に変わるわけではありません。備えることは、認知症とともにあなたがあなたらしく暮らせる希望ある社会の実現につながります。

認知症の人と家族が
いきいきと生きるために



認知症と診断されるまでに

困ったときに相談できる場所リスト



認知症の人と家族が安心して暮らすヒントが盛り込まれた「認知症家族支援ガイド」を作成しました。

●「認知症家族支援ガイド」ダウンロード
<https://www.alzheimer.or.jp/?p=48252>



子どもたちの理解の輪を広げる!!

これから社会を担っていく子どもたちが、認知症を理解し、自分にできることを考えてほしいと小学生向け学習教材「認知症こどもサイト」を制作しました。

子どもたちや地域全体が認知症を理解することで「認知症になっても安心して暮らせる社会」が身近になることを期待します。



＼ 認知症を学んで、できることを考えよう! /

●「認知症こどもサイト」

認知症こどもサイト

検索

スマートフォンには対応していません。

